

令和3年度

認定こども園大谷オアシス保育園 学校評価

令和3年度の学校評価は、昨年度の学校評価委員会での委員の皆様方からの意見を受け、幼稚園・認定こども園における管理体制と、過去2年間の食育活動の反省を踏まえた課題に取り組んできた成果について見直したいと考え、テーマを決めました。

テーマ 『園の管理体制の見直しと家庭との連携』 『食育活動』

1、テーマの趣旨

保育・教育の基礎となる部分が同じこと本園の学校評価委員の先生方と札幌大谷第二幼稚園（姉妹園）の学校評価委員の先生方が同じということもあり、学校評価2回目となる今年度も、札幌大谷第二幼稚園（姉妹園）と合同で学校評価に取り組みたいと役職者を中心に職員間で話し合いを重ねてきました。

2、令和3年度の学校評価の実施手順等について

今回実施する学校評価の実施手順等は次のとおりです。

①重点目標の設定、評価項目の設定、教職員への説明・周知	令和3年10月
②学校評価委員会の開催	令和3年12月
③教員自己評価の実施	令和4年1月
④保護者アンケートの実施	令和4年1月
⑤園自己評価の実施	令和4年4月
⑥学校評価委員会報告	令和4年6月

尚、この自己点検結果は、学校評価委員会報告と共に、学園理事長に報告され、その後、概要を公表する予定です。

3、令和3年度の学校評価の重点目標と評価項目

○重点目標

『園の管理体制の見直しと家庭との連携』

『食育活動』

○評価項目

I 園の管理体制

II 教職員の配慮

III お子様の園生活について

IV 食育活動

4、点検結果—現状・課題・改善方向

I 園の管理体制

“学園理念や教育方針について”、保護者の方は『十分理解しやすい』『ほぼ理解しやすい』が10割だったことに対し、教職員については『あまり理解出来ない』が3割を占めていました。教職員に対し学園・本園としての理念や教育方針を十分に周知し理解してもらう必要があると感じました。

しかし、“園の教育目標は子ども達の中で育っていると感じるか”との問いには、保護者、教職員共に『十分育っている』『ほぼ育っている』が10割という回答となりました。教職員と職員会議等で何度も話し合いを重ねている教育目標については『十分に理解している』と自信をもっているからこそ、その教育目標を意識し、年齢相応の関わりや様々な体験を取り入れていると回答することが出来ているのだと思いました。

また、以前から地震・火災・不審者の侵入等の緊急避難時の職員の対応についての不安や疑問が避難訓練の際に話題となっており、自分たちの施設ではどのように行動すれば子どもたちの命を守ることが出来るのか知りたいという声が上がっており、園内研修を実施したいと考えていました。その思いが、回答に表れていたと感じました。園としての今後の課題が明確になったことから、Bと評価しました。

II 教職員の配慮

“園は、ホームページ等で園の情報や活動を保護者や地域に分かりやすく伝えているか”という点においては、保護者の方から評価をして頂いていましたが、“子育てにおける相談や面談の実施”“指導方法や内容の工夫”“明るく熱心な指導”等の保護者との信頼関係を築くことや連絡事項等の対応においては、少数ではありましたが、園の対応に対して不満を感じている保護者の方がいることが分かりました。この結果を真摯に受け止め、現状に満足することなく、保育者として一番の責務である子ども理解と、保育環境への配慮に努めていきたいと思いません。また、そのことを保護者の皆様に発信する方法等について見直していきます。

以上の面から、Bと評価します。

III お子様の園生活について

“お子様は、園生活に楽しさを感じる事が出来ていますか”という問いに保護者・教職員共に回答が『十分出来ている』『ほぼ出来ている』が10割という結果を嬉しく思いました。

教育体制や行事開催等、コロナ禍で見直しを行なってきましたが、まだまだ改善が必要な部分はありますが、Aと評価しました。

IV 食育活動

特に注目したのは、園選びの際には、食育活動の有無については重視していなかった保護者は2割程いましたが、“園でどのような食育活動をしているか知っていますか”という問いにたくさんの回答を頂き、入園後に本園の食育活動について多くの保護者の方が知って下さっているのだと嬉しく思いました。また、“園での食育活動や給食メニューを家庭の食事メニューに取り入れることはあるか”という問いには、半数の保護者の方に経験ありと答えて頂きました。このような結果に繋がったことの一因には、教職員の日頃の関わりがあると感じています。“保育活動の中で年間を通して、保育内容に関連した食育活動を行うことが出来たか”という問いに9割の職員が『十分出来ていた』『ほぼ出来ていた』と回答していました。また、“食育活動について保護者に発信することは出来ましたか”の問いには、『十分出来ていた』『ほぼ出来ていた』と全員が答えていました。職員が自信を持って答えてくれている成果がしっかりと保護者の方の回答からも伺い知ることが出来る結果を評価し、Aとしました。

5、最後に

コロナ禍になり、これまでの保育・教育内容の実現がままならず、行事を含め見直し、結果的に規模の縮小や廃止したものもあります。教職員と話し合いを重ねる中で、改めて、保育・教育活動に於いて、子ども達との関わりの中で大切にしたいことや、一つ一つの行事の意味等も考える機会となりました。保護者の皆様には、年間を通してご理解とご協力を頂きましたことを心より感謝申し上げます。しかしながら、その経緯や私たちの思いを十分にお伝え出来ていなかったことも今回の学校評価を通して見えてきました。今回の結果を次年度以降に活かすことが出来るよう努めて参ります。

最後になりましたが、大変お忙しい中、今回の点検・評価にご協力頂きました保護者の皆様、評価委員の皆様方に対しまして、心より感謝申し上げます。

令和4年6月

認定こども園大谷オアシス保育園
園長 中里 泰子